

「和寒町で暮らしましょう！」 移住体験事業を開始しました

本町では、これまで、過疎化対策の一環として、町内の空き住宅情報を収集し、町のホームページをとおして全国に空き住宅情報の提供を行い、本町への定住を促進する「和寒町で暮らしましょう！」空き住宅情報「事業を展開してきました。

しかし、厳しさを増す地域農業や進行する少子高齢化は、我がまちの「元気」に大きな影響を与えております。人口減少に歯止めがかからない状況のなかで、どのようにマンパワーを維持・確保していくかが大きな課題となっており、従来にも増して人の輪を拡げ、強めながら地域の活性を図る方策が必要となっております。

一方、昭和二十二年から二十四年の戦後ベビーブームに生まれた「団塊の世代」が今春から一斉に退職を迎え始め、ふるさとや地方に移住先を探す都会の人たちが増大しており、道内はもとより上川地域の各自治体でも、「団塊の世代」の取り込みに力を入れている現状にあります。

このような状況から、本町では今年度からより一層定住促進事業を進めるため、「和寒町で暮らしましょう！」移住体験「事業を展開することになりました。

この事業は、移住希望者に一定の期間、本町で生活体験をしていただくために「宿泊場所」や「体験メニュー」を提供し、人口の定着と増加を図り、町の活性化を図ることを目的とするもので、今後、多くの方に利用していただくため積極的に「和寒暮らし」をPRしていきたいと考えております。

移住体験事業を進めるにあたり、和寒町移住促進連絡会議（和寒町商工会・和寒町観光協会・JA北ひびき和寒基幹支所・役場で構成）を設立し、協力を整えたところでありますが、移住体験事業を魅力あるものにしていくためには、農業体験の場の提供や移住希望者の情報提供などまちが一体となつて取り組んでいく事が必要でありますので、町民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

行ってみようか
和寒町へ



移住体験事業の内容

体験事業は次の二種類から選びます。

短期型

研修館「榎」に宿泊しながら町内で生活体験や農業体験を行う。

【体験期間】

三泊から十三泊（二週間以内）

【体験料金】

大人 一泊三千百円、
子ども 一泊二千百円、

長期型

農村部の地域会館や空き家教員住宅などで宿泊して生活体験や農業体験を行う。

【体験期間】

一週間から一カ月以内（単位は一週間）

【体験料金】

地域会館

（一週間）四千百円、

（一カ月）一万五千円、

教員住宅

（一週間）八千円、

（一カ月）三万千円、

右記の体験事業については、町のホームページにも掲載されており、既に募集を開始しています。

各自自治体を取り組んでいる「移住体験事業」は、名称の違いはあってもその仕組みに大きな違いはないようです。全国千二十余町村に、本町と同様の環境にある自治体が数ある中で「和寒町に住んでみたい」と思っていたただくために、まちの自然や歴史、環境を知っていただくことは勿論ですが、強く「和寒町に住みたい」と感じていただくためには、先人達が培ってきた「風土」を満喫し、まちの「魅力」を十分に堪能していただくことが重要な力ギとなります。「風土」とはそこに暮らす人々が織りなす文化であり、「魅力」とはその風土に育まれ暮らす人々の「元気」そのものだと思います。

この町を訪れる方から、ひとときの生活体験をおして「よし和寒に住もう！」との決心を引き出すためには、町民の一人ひとりが元気の素となり、「あなたも私たちの求めている仲間ですよ」と無言で語りかける皆さんの思いが町の魅力となつて、訪れる方々を引き留める大きな力となつて作用するのではないのでしょうか。

始まったばかりの事業ですが、和寒町の魅力を一人でも多くの方に味わってもらえるような事業に展開していきたいと考えています。

【詳しいお問合せ先】

総務課まちづくり推進係
電話 三三一 二四二番